

屋外デザインワーキング

目 的

これまで机上で検討してきたデザイン検討案のうち、特に現物確認が必要な事項について、下のテーマごとに屋外に3つのブースを設置し、各関係者に確認いただいた上で、それぞれの立場からの意見を徴収した。

内 容

バス停留所周辺の形状確認

- ・バス2台分であれば23mで運用可能
- ・自転車道2m幅は思ったより広く感じる。横断歩道幅も4mあれば十分。
- ・上記交通島と自転車道の横断箇所があれば、交通島内で人同士が交錯させないバスの運用は可能
- ・バス2台目は降車のみとしての運用を行い、歩行者の輻輳を抑えたい
- ・テラスと自転車道間には横断防止柵等の設置をお願いしたい



写真 1-1



写真 1-2

平板ブロックの材質・色の確認

- ・蛍光色が分かりやすいとの意見もあったが、維持管理を考慮すると経年劣化しない素材を提案する
- ・実際は人により得意、不得意な色があるので、輝度比での定量的判断が参考となる
- ・弱視の方の見え方をスマートフォンで表示していただき、見え方を共有できた



写真 2-1



写真 2-2

視覚障がい者ブロック配置等の確認

〔弱視の方の意見〕

- ・利用者は色でブロック位置を探し、到達してからは凹凸で移動する
- ・一般的に黄色が「誘導ブロック」の認識を持っており、他の色は模様とってしまう
- ・視覚障がい者ブロックから歩道端までの距離は 60 c m では少し狭い (90 c m あれば十分)
- ・エッジ色があるとより確認しやすい (出来れば両側ほしい) 写真 3-3

〔全盲の方の意見〕

- ・自転車道手前に何か目印が欲しいが、何が欲しいかは具体的にイメージできない
ただし、県内にこのような自転車道は他にはないため、周知で対応できる



写真 3-1



写真 3-2



写真 3-3

以上